

テレワーク・在宅勤務における 情報セキュリティと運用

日時 令和2年11月10日(火) 10:00～16:00
計6時間 (1日間)

対象 ・情報セキュリティ部門の方々
・総務部門の方々

講師 プリンシプル BCP 研究所
所長

林田 朋之 氏

会場 NHK 名古屋放送センタービル内教室

セミナーの ポイント

本セミナーでは、テレワークに成功している企業と課題を抱えながら運用している企業の違いを明確にし、そのポイントを克服することに焦点を当て、演習を交えながら、テレワークの構築から情報セキュリティを踏まえた運用、自宅での労働定義と労務管理、IT/情報セキュリティ教育まで包括的な解説を行います。

講義項目

1. コロナ禍におけるテレワークの実態

- ① テレワークが求められた背景
- ② テレワークによる感染防止期待効果
- ③ テレワークを導入できた企業・組織の特徴
- ④ テレワークを導入出来なかった企業・組織の特徴
- ⑤ テレワーク導入の失敗例に学ぶ課題
- ⑥ テレワークがもたらした働き方改革
- ⑦ withコロナのテレワーク

- (4) マルウェア管理
- (5) クライアント管理
- ④ テレワークの ISMS
 - (1) 基本方針の設定
 - (2) 組織
 - (3) リスク分析
 - (4) 対応手段の選択
 - (5) 教育・訓練
 - (6) マニュアル、手順書の作成

2. テレワークにおける仕事の定義

- ① 平時とテレワーク時の環境の違い
- ② ビデオ会議
- ③ メールとインターネットブラウジング
- ④ MS Office(Excel、Word、PowerPoint、Outlook)
- ⑤ 業務アプリケーション(ERP、業務システム、等)

5. テレワークの導入と情報セキュリティ運用

- ① テレワークの企画
- ② テレワークの教育
- ③ テレワークの移行と運用
- ④ テレワークにおけるトラブル対応

3. テレワークの技術

- ① テレワークのネットワーク
- ② サーバとクライアント
- ③ オンプレミスとクラウド
- ④ VDI(Virtual Desk Top)
- ⑤ シンククライアント
- ⑥ リモートアクセス
- ⑦ 各技術の特徴と比較

6. テレワークにおける労務管理

- ① 時間管理を行う運用
- ② 時間管理を行わない運用
- ③ テレワーク労務管理上の問題行動
- ④ テレワーク労務管理上の課題
- ⑤ 従業員 IT リテラシ教育の重要性

4. テレワークにおけるリスクと情報セキュリティ

- ① テレワークにおける情報セキュリティリスクとは
- ② テレワークにおける個人情報・機密情報等の管理
- ③ テレワークにおける情報セキュリティ技術
 - (1) ネットワーク認証
 - (2) アクセス認証
 - (3) 通信暗号化の考え方

【演習】テレワークの導入設計と 情報セキュリティ設計

- ① テレワークの環境設定
- ② テレワークの業務設定
- ③ テレワークのクライアント管理と労務管理
- ④ テレワークの情報セキュリティ管理ポリシー設定

《講師派遣による「社内研修」も承っております。お気軽にお問い合わせ下さい。》

プリンシプル BCP 研究所
所長

林田 朋之 氏

北海道大学大学院修了後、富士通株式会社入社、その後米シスコシステムズ入社。金融、製造など大企業の大規模・国際ネットワーク、国立大学等のキャンパスネットワーク、自治体ネットワーク、キャリアのネットワークなどのネットワーク構築技術支援およびプロジェクトマネジメントを担当。
その後、独立コンサルタントとして、大企業、中堅企業の危機管理、震災および新型インフルエンザのBCP (Business Continuity Plan: 事業継続計画)、IT、情報セキュリティ、クラウド・リスクマネジメントなどのコンサルティング業務を実施。情報処理推進機構によるITスキル標準レベル6として、CIO / CRO / CSO 代行業務。BCP 講師としてNHK ニュースに出演。雑誌記事投稿・日経コミュニケーション・日経BP、学会発表、シンポジウム発表など多数。

2020年初頭からの新型コロナウイルス感染症の世界的蔓延(パンデミック)は、世界中の人々を等しく不安に陥れ、都市のロックダウンによる経済停滞を引き起こし、今なお終息の糸口が見えてこない状況です。この難局を打開し、従業員を守るため、多くの企業は、テレワークを導入しました。感染防止策の一環として社会的距離を置き、オフィスで行う作業を自宅で実施できるようにしたわけです。従来より平時においてテレワークを実践出来ていた企業は、コロナ禍でも問題無くテレワークを運用出来ていますが、差し迫って拙速にテレワークを導入した企業では、当然ながらいくつもの課題が噴出しています。特に顕在化しはじめた重要問題の一つが、情報セキュリティです。今までオフィスのイントラネットですら守られていた情報通信が、インターネットを経由することでいくつものリスクにさらされ、その状況を克服できていない企業も数多く存在します。本セミナーでは、テレワークに成功している企業と課題を抱えながら運用している企業の違いを明確にし、そのポイントを克服することに焦点を当て、演習を交えながら、テレワークの構築から情報セキュリティを踏まえた運用、自宅での労働定義と労務管理、テレワークのIT / 情報セキュリティ教育まで包括的な解説を行います。

日時：令和2年11月10日(火) 10:00 ~ 16:00
計6時間 (1日間)

会場：NHK 名古屋放送センタービル内教室
名古屋市中区東桜1-13-3 NHK 名古屋放送センタービル ※右図参照

参加料: (1名につき)	参加料	消費税等	合計
本会会員	30,000円	3,000円	33,000円
一般	35,000円	3,500円	38,500円

★複数名申込割引について

同一企業(団体)から同じ講座(コース)に2名様以上でご参加の場合は、1名様につき、2,200円(税込)割引いたします。
下記申込欄にご記入ください。

※参加料には、テキスト・資料代が含まれています

申込方法：下記の参加申込書に必要事項をご記入の上、FAX等でご申し込み下さい。
折り返し、参加券と振込口座を記載した請求書をご派遣責任者までお送り致します。

- 参加料(負担金)は、銀行振込にて開催3営業日前までにお納めください。(経理処理の都合で遅れる場合は、事前にご連絡下さい。)
- 開催3日前までに参加券が届かない場合は、恐れ入りますがお電話にてご確認ください。
- 参加のお取り消しにつきましては、必ずご連絡ください。参加者のご都合が悪くなった場合は、代理の方にご出席いただけますようお願い致します。
- 領収書は「振込金受領書」をもってかえさせていただきますのでご了承ください。
- 同業者のお申込みは、お断りする場合がございます。

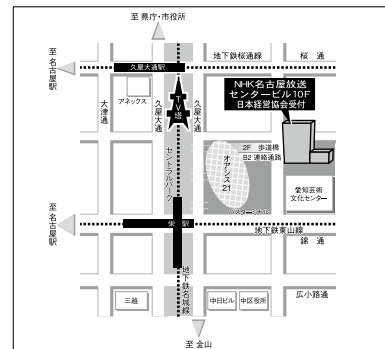
キャンセルについて 開催日の3営業日前からは受講料の30%、開催当日は100%をキャンセル料として申し受けます。
なお、当日まで連絡なくご欠席の場合も、100%のキャンセル料となりますので、予めご了承ください。

その他 参加者が少数の場合、天災の場合などにおいては、中止・延期させていただく場合があります。

お問い合わせ先：一般社団法人 日本経営協会 中部本部 企画研修グループ (担当/五藤・中村) TEL (052) 957-4172 (ダイヤルイン)
〒461-0005 名古屋市中区東桜1-13-3 NHK 名古屋放送センタービル 10F FAX (052) 952-7418

日本経営協会・中部ホームページ <http://noma-chubu.jp/>

※お電話の問い合わせ(駐車場含む)は、平日の9:15~17:15にお願いします。



【JR・名鉄・近鉄の名古屋駅より】
地下鉄東山線(4分)栄駅より徒歩5分
地下鉄桜通線(5分)久屋大通駅より徒歩8分
【中部国際空港より】
名鉄(25分)金山駅(乗換)地下鉄名城線(7分)栄駅より徒歩5分
※地下鉄駅からは、地下街、オアシス21経由でNHKビルに直通

日本経営協会・中部本部 行 FAX (052)952-7418

こちらの面をそのまま FAX して下さい。

60015959

「テレワーク・在宅勤務における情報セキュリティと運用」参加申込書

R2/11.10

年 月 日

★複数名申込割引に該当する場合はチェックして下さい <input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 日本経営協会会員 <input type="checkbox"/> 一般 (該当するものにシ印をつけて下さい)	
(フリガナ) 団体名	TEL () - ()		ご派遣責任者 所属・役職名
(フリガナ) 所在地	〒		ご氏名 (印)
No.	参加者(フリガナ)	所属・役職名	担当経験年数
			年 月
			年 月
			年 月

〈注〉太わくの中をご記入下さい。電算処理の関係上、フリガナ・ご派遣責任者名は必ずご記入下さい。No欄は記入不要です。

※参加申込書にご記入いただいた情報は、以下の目的に使用させていただきます。

① 参加券や請求書の発送などの事務処理 ② セミナー運営 ③ セミナーなど本会事業のご案内

お申込時点で趣旨にご同意いただいたものとさせていただきますので、予めご了承下さい。

なお、③がご不要な場合は右記□にチェックしてください。

不要

地球にやさしい再生紙を使用しています。